

ああ担いて往かん

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝 文責 大森 朗輝



上記の写真は、スキー授業後の、講習会の様子です。椅子の背もたれにスキー授業用のゼッケンを干しながらの受講です。特に二年生は選択科目の関係で学習していない資格への挑戦も多く、積極的に講習会に参加していました。教科担当の先生方はなんとしても合格したいという生徒のために頑張りました。(勤務時間を度外視しての約3週間にわたる講習は完全にサービス。感謝しましょう。)一方、検定試験受験前の生徒たちは、講習会で頑張ってくれた〇〇先生のためにも絶対に合格したいと話しており、これから発表される合格発表も楽しみです。合格のために一生懸命に学習する、努力を重ねるという過程の部分では既に検定試験本来の目的が達成されたと感じます。

1・2年生の中で、今回合格に至らなかった人もいますが、次回の検定試験では絶対に合格するというチャレンジの気持ちがあれば大丈夫です。次のチャンスを活かしましょう。

学年末考査がせまっています

検定試験に向けた学習で理解したと思いますが、一夜漬けのような学習は意味がありません。しっかりと対策を行って考査をむかえましょう。

それぞれの進路において、いわゆる学習成績をあげておくことは大切です。民間就職を考えている者や推薦での進学を視野に入れている者は特に気を引き締めてください。暦の関係で勉強する時間は十分あるはずです。



イノベーションキャラバン NoMaps オンラインにて実施しました

講演テーマ 「コロナ禍だからこそ学生に伝えたいイノベーションの重要性」
エコモット株式会社 代表取締役 入澤 拓也 様

進行 tomonasu 合同会社 CEO 嶋本 勇介 様

当初は昨年同様の形式で講師の方をお呼びして集会形式での実施を企画しておりましたが、関係各機関と調整の上、オンラインでの実施となりました。千歳高校の他に、二校ともオンラインで結ぶ必要があったため、日程の調整に時間を要しましたが、大変有意義な講演を頂き、その後オンラインで結ばれている各学校間で意見交換をしました。

本校の代表として2年生の2名に当日の感想を聞きました。ほかの国際流通科の生徒は、後日今回の講演等を録画したものを視聴して頂き、ディスカッションをして頂きます。

Mさん(2年)

ITを駆使しての今後の生活について知ることができました。私たちは今、マーケティングを習っていますが、そこにネットを使った現代の新しいマーケティングを知れて楽しかったです。このコロナ禍で、どのようにITが使われているのか、また、逆にどのような使い道を考えれば、世界的に「モノ」が広まるのか、私はずっと興味がわきました。

SDGsについてのITの重点課題に、自分たちも積極的に取り組んでいきたいと思っています。また、私にはなりたい職業があります。その目標を実現させるために、どのような大人になりたいのか、ビジョンを明確にしていきながら、次に進んでいきたいと思っています。



Nさん(2年)

オンライン授業を初めて利用しました。メリットとしては、会わずに会話できること、デメリットは、接続が不安定なことが多々あったことです。私は対面の方がやりやすいので、早く対面でできるようになれば幸いです。

ITの会社の方だからIT機器を売っていくのかと思いましたが、入澤さんは『ITは手段、目的ではない』とおっしゃっていて、自身の考えは全くブレていないのを感じて、私も見習いたいと思いました。

BSCの活動が今、思うように出来ていないことを正直に話してみると、思いがけないようなアドバイスをいただけてこれからの活動の計画を立てるときに役立てられそうです。

SDGsなどの世界問題をたくさん知り、私自身がどうしていくか「ビジョン」を立てる機会ができました。